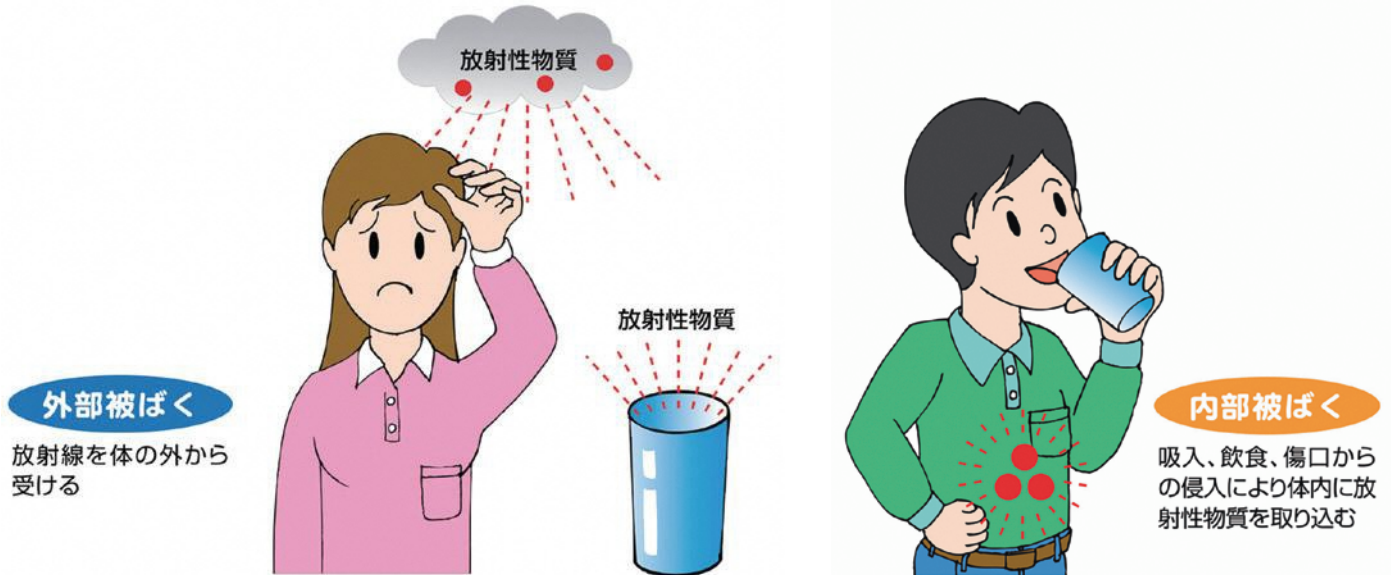


原子力防災対策について（その2）

◆外部被ばくと内部被ばく◆

◇放射線を体に受けることを「被ばく」といい、体の外にある放射性物質から放射線を受ける場合を「外部被ばく」、呼吸や食べ物などから体の中に放射性物質をとりこんで体の内側から放射線を受ける場合を「内部被ばく」といいます。

◇原子力災害時には「避難」や「屋内退避」、「飲食物の摂取制限」などの対策を実施して外部被ばくや内部被ばくを防ぎます。



〈問合せ先〉 原子力対策課
☎（直通）0175-33-2268

今日の『ひがしどおり小話』

No.2 寒立馬

先月号の『尻屋崎灯台の始まり』でご紹介した尻屋崎灯台。重要文化財に指定された尻屋崎灯台の周辺には、広大な尻屋崎国定公園が広がっています。

そして国定公園内には、地元の方、観光客の皆様にも愛される『寒立馬』が放牧されています。現在は、灯台から少し離れた放牧地で過ごしています。

寒立馬は、日本在来種の南部馬を祖先に持ち、大型の馬との交配により改良され、現在の足が短く、胴が長い、ずんぐりとした体型となりました。尻屋崎の厳しい寒さや粗食に耐え、持久力に富むたくましい体格の馬です。

下北の厳しい冬を越え、迎えた春。4～5月にかけて分娩シーズンとなり、仔馬の可愛い姿が見られる時期となりました。

今年最初は黒い毛色の女の子が誕生しています。おぼつかない足取りで、母馬に一生懸命ついて歩く姿は、皆様を虜にしてしまうことでしょう。見学に来る方には、そんな姿を静かに遠くから見守っていただければと思います。

